

# 縄文土器の文様の意味

## 「分からない」理由を解説

### 尖石考古館 あすまで企画展

茅野市尖石縄文考古館は企画展「土器文様の「ゴゴ」に注目」のギャラリートークを24日から、同館で開いている。同館学芸員の山科哲さんが展示会場で、縄文土器の文様の意味が「分からない」理由を解説している。26日まで。

企画展は茅野市内で発掘された土器を中心に約200点を展示。縄文土器の文様について、考古学の専門家の見方や、文様の意味を明らかにすることの難しさを紹介している。

ギャラリートークで山科さんは、考古学の専門家にとっては文様の意味の追究よりも、文様の変化で時間の物差しを作る研究が「王道」だと説明した。それでも「時間をかけて飾り付けたものに意味がないはずがない。使っていた人たちに共有された物語があったのでは」「文字が無いがゆえに、蓄積した経験や知識を物語化して口で語って伝えていたはず」などと分析。口で語られた物語は今、知ることはできないが「土器の文様で表現したなど、いろいろな



縄文土器の文様の意味がなぜ「分からない」のか説明したギャラリートーク

た。

可能性があると踏まえることは無駄ではない」と話している。

観覧料は必要。企画展は26日まで。  
(宮沢知史)

ギャラリートークは各日、午前10時30分から午後2時からの2回行っている。24日の午前の部には約10人が参加し、多様な文様や立体装飾が施された土器を見ながら興味深く聞き入っていた。申し込み不要で参加無料だが、観